

令和4年度補正予算額 2,060億円(基金)

## 施策の目的

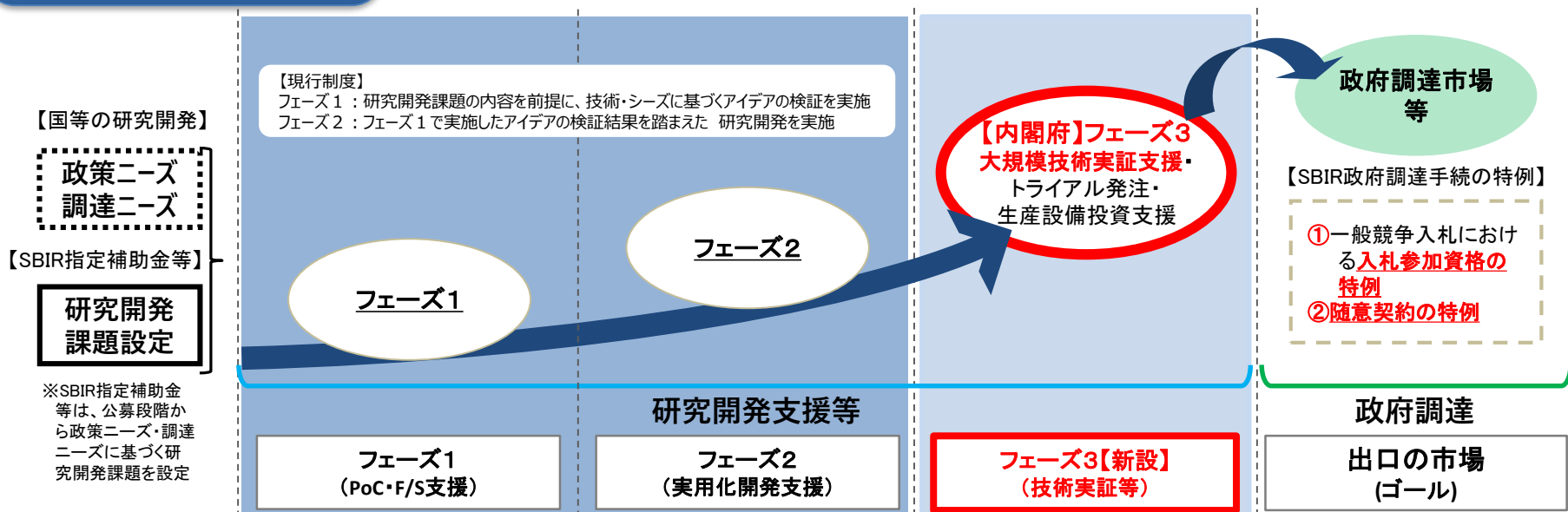
スタートアップを育成する際、公共調達を活用が重要であり、公共調達を見据えた技術開発支援であるSBIR制度(Small/Startup Business Innovation Research)に基づく「指定補助金等」の対象・規模を抜本的に拡充。

## 施策の概要

ビジネスアイディアの FS 調査段階(「フェーズ1」)、実用化に向けた研究開発段階(「フェーズ2」)の支援の拡充に加え、新たに先端技術分野における大規模技術開発・実証段階(「フェーズ3」)も支援対象に追加する。

※宇宙、ロボット、防災、先進医療・農業等の先端技術分野において、スタートアップによる社会実装を5年以内に目指すプロジェクトを少なくとも50件以上採択する。

## 施策の具体的内容



# グローバル・スタートアップ・キャンパス構想

令和4年度補正予算額 75億円

## 施策の目的

- 研究シーズからスタートアップを起こしていくエコシステムの形成が必要不可欠。
- ディープテック分野に特化した研究機能と国際標準のインキュベーション機能を兼ね備えた「グローバル・スタートアップ・キャンパス」を創設。
- 民間資金を基盤として、柔軟な運営を実現し、世界に挑戦するスタートアップの創出を目指す。

## 施策の概要

【フィージビリティスタディ等(9億円)】

○グローバル・スタートアップ・キャンパス構想での連携に向け、協力が想定される海外トップ大学とのフィージビリティスタディの実施、必要となる建物の検討を推進。

【先行研究の実施(66億円／基金)】

○海外大学等とのネットワーク構築、スタートアップ創出に向けた取組を加速するため、協力が想定される海外トップ大学等から研究者等の招へい、国際共同研究等を推進。



# グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 今後の想定されるスケジュール（イメージ）

